

申請基準総括表

最終更新日: 2006.7.17

| 環境自治体づくりの 視点 (部門) | 共通実施項目 | | | 独自目標 | | |
|---|-----------|---------------------------|--------------------|----------------------|--------|--------------------------------|
| | 区分 (ステージ) | 項目数 * | 当該類型区分の 最低取組み条件 | 設定数 | 目標設定の例 | |
| エコアクション(環境活動)部門: 環境問題解決や地域の持続可能な発展のために必要な対策が行われている | 第1ステージ | 庁内事務活動における環境配慮 | 10 | 10項目中必須項目含め7項目以上に取組む | 5以上 | ・庁舎の電力消費量を基準年に比べ5%削減する |
| | | 環境を意識した行政運営 | 10 | 10項目中必須項目含め7項目以上に取組む | 1以上 | ・環境問題の職員研修を年4回以上開催(職場研修を含む)する。 |
| | | 政策・事業内容やその検討・実施プロセスの公開 | 7 | 7項目中必須項目含め5項目以上に取組む | 1以上 | ・環境情報を広報やHPで年20回以上提供する。 |
| エコマネジメント(環境経営)部門: 環境に対する総合的で効率的な行政運営や政策立案が行われている | 第2ステージ | 事業活動における環境配慮や環境保全・改善事業の実施 | 10 | 10項目中必須項目含め7項目以上に取組む | 5以上 | ・道路工事における再生アスファルト使用比率を7割以上にする |
| | | 総合的・体系的な行政運営 | 10 | 10項目中必須項目含め7項目以上に取組む | 1以上 | ・環境関連施策の各セクション単位での評価を年1回以上行う |
| | | 政策や事業の立案・実施プロセスへの市民参加 | 8 | 8項目中必須項目含め6項目以上に取組む | 1以上 | ・全ての街路・河川などの環境美化活動に市民に参加してもらう |
| エコガバナンス(環境自治)部門: 市民・事業者とのパートナーシップによる事業の実施や政策決定が行われている | 第3ステージ | 持続可能な地域づくり(環境・経済・社会の調和)政策 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 |
| | | 効率・効果を客観的に評価した行政運営 | | | | |
| | | 市民・事業者との協働による政策決定・政策実施 | | | | |

*項目の数や内容は、随時見直されます